

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	里山活性化と松くい虫被害対策推進事業
事業主体 (連絡先)	池田町区松茸組合 (事務局 山本昌平 Tel62-2372)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,442,990円

事業内容

5月、子供たちに森林の大切さや森の恵みを学んでもらうために森林整備と茸の駒打ち体験を実施し、秋、松茸山周辺にて茸の収穫体験及び林産物の発生状況確認と茸の専門家を招き、茸の鑑定及び茸栽培の講習会を開催。8月には子供たちとその保護者で山林内の間伐材を材料に、マツノマダラカミキリの天敵であるアカゲラの巣箱づくりを体験した。

3月、松くい虫被害予防対策として樹幹注入に必要な薬剤を購入し、池田町区の松茸山10aの山林のアカマツに、組合員と地域住民による協働作業で樹幹注入を実施。併せて開催予定であった町民を対象とした樹幹注入講習会を開催予定であったが、大雪の為中止し、組合員を対象とした講習会を開催した。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- ・ 樹幹注入を実施したことで、今後数年は被害の軽減が見込まれる。
- ・ 樹幹注入講習会は大雪で開催出来なかったが、開催案内をしたところ、反響が大きく、また開催して欲しいとの声が寄せられ、関心を高めることが出来た。
- ・ 子供たちをはじめ、多くの人に森の大切さ、豊かさについて関心をもってもらえた。
- ・ アカゲラの巣箱を設置したことで、アカゲラ (キツツキ) が木を突く音が山林内で聞こえるようになった。

【目標・ねらい】

- 松くい虫被害拡大防止
- 松林保全と景観保全
- 森林資源の保全と次世代への継承

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

池田町区の山林のアカマツだけでなく、町内全域で組合員だけでなく次世代を担う世代とともに松くい虫被害からアカマツを守り、先人達が育んできた貴重な資源を次代へ繋いでいくため、松林の保全及び、地域の景観保全を図っていきたい。